



～ プラタモリ案内人と巡る、88体の石仏を巡る信仰の姿 ～

安曇野市の南部に位置し、江戸時代に入ってから成立した新田村である小田多井集落は、周辺の村に比べて比較的歴史が新しいこともあり、固有の寺を持たない村でもありました。

寺の無い村人は、弘法太子の遺徳を偲びご利益を得ようとお堂を造り、さらに四国遍路八十八ヶ寺の本尊を村内各所に立て、そこを巡礼することで遍路を完遂したことにしたのです。そして令和の世になっても、当時の信仰の篤さを偲ぶことのできる巡礼番号の刻まれた石仏が集落各所に佇み、それぞれの家人の手により大切に祀られ続けています。

地域遺産でもある石仏を巡るなかで、往時の農村集落における信仰とはいったいどのようなものであったか、集落の成り立ちと現代の姿に触れながら探っていく旅です。プラタモリ安曇野編にて案内人を務めた百瀬新治さんのガイドで、心静かに仏さまに手を合わせながら散策し、穏やかな春の安曇野を楽しみましょう。
(普段非公開の個人宅敷地内にある石仏も、本ツアーでは特別に立ち入らせて頂き鑑賞いたします)

参加はココブラ信州のホームページから、お申し込みください。 要会員登録

日時 4月6日 09:00～11:30

集合 小田多井地区公民館駐車場 駐車場あり

定員 10名

参加費 2,500円 保険料含む。

申込み 1月1日～1月1日

参加はココブラ信州のホームページから、お申し込みください。 要会員登録

<https://cocobura.jp/>